

●**阪神・淡路大震災から20年**

1995年1月17日に発生した**阪神・淡路大震災**から今年で20年が経過した。この地震の最大震度は7、死者は6434人を記録し、約25万棟の家屋を全壊や半壊に至らしめた。神戸市では地震が起きた時間に震災の被害者や遺族が黙とうを捧げた。

●**フランス 社会の隔たり あらわに**

フランスの新聞社「シャルリ・エブド」は、武装した男2人に襲撃されたのち初めて新聞を発行した。その表紙には「表現の自由」のもと、**イスラム教の預言者ムハンマドの風刺画**が描かれている（右図）が、これに対しフランス内のイスラム教信者は、信仰を否定されたとして反発している。



●**道路標識にシール**

大阪府・京都府内の数十ヶ所で道路標識にシールが貼られていたことがわかった。警察は、**道路交通法**違反の疑いで浦川真弥容疑者を逮捕した。また、浦川容疑者の交際相手とされる外国人男性は、テレビ局の取材に対して事件への関与を認めた。

●**初公判で起訴内容に争う姿勢**

オウム真理教の元信者である高橋克也被告人の**初公判**が東京地方裁判所で開かれた。高橋被告は、平成7年におきた地下鉄サリン事件をはじめ4つの事件に関わったとして殺人罪などに問われている。高橋容疑者は地下鉄サリン事件について無罪を主張し、他の事件についても起訴内容に関して争う姿勢を示している。

●**アギーレ監督 告発状受理**

アジアカップで連覇を狙い健闘を続けるサッカー日本代表の監督ハビエル・アギーレ氏についてスペインのメディアは、「アギーレ監督をめぐる**八百長疑惑**で告発状が裁判所に受理された」と報じた。日本サッカー協会はアジアカップの終了後に協会としての考えやアギーレ監督の処遇を発表する予定だ。

●**タイの国立公園 被害相次ぐ**

タイ(右下図、着色部分)のカオヤイ国立公園で野生の象が乗用車を襲うなどの被害が相次いでいる。専門家は、群れから追い出された象が孤独とストレスを感じ暴れることもあるとして、国立公園では観光客への注意を呼びかけている。

